

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ウトロ地区小規模住宅地区改良事業	階数	地上5F、地下0階
建設地	京都府宇治市伊勢田町ウトロ51-28	構造	RC造
用途地域	市街化区域	平均居住人員	95人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2021年9月15日
敷地面積	5,030 m ²	作成者	株式会社 新大阪設計事務所
建築面積	1,098 m ²	確認日	2021年9月15日
延床面積	4,157 m ²	確認者	株式会社 新大阪設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 93%
③上記+②以外の 93%
④上記+ 93%

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合	良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。	特になし。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆を使用し、空気質環境の向上に努めている。	敷地内緑化を積極的に行い、室外環境に配慮している。
LR1 エネルギー	LED照明等の高効率設備機器を採用し、省エネルギーに配慮している。	適切な量の駐輪場を設置し、交通負荷抑制に努めた。
Q2 サービス性能	維持管理に配慮した仕上材を使用し、階高にゆとりをもたせることで居住者のサービス性能向上に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	仕上材と躯体を容易に分別できるようにし、資源を有効に活用することに努めている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される